

＜「新しい女性」とアジアの近代／セミナー＞

戦後日本と「新しい女性」

香港大学文学部日本研究学科より中野嘉子氏をお迎えし、日本初の太平洋線就航に向け、客室乗務員の教育とPRに関わった人たちを通じて、「新しい女性」について考えます。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

日時：2017年5月20日（土）14:30-17:00

場所：東京大学 東洋文化研究所 3階第一会議室



プログラム：

14:30 趣旨説明： 山口みどり(大東文化大学)

14:40 講演： 中野嘉子（香港大学）

「1953年、羽田に降り立った女性教官

27歳のアメリカ人と37人の日本人客室乗務員」

15:30 コーヒーブレイク

15:50 コメント： 高 媛（駒澤大学）

16:00 質疑応答

17:00 閉会

講演要旨：

1953年8月10日の深夜、羽田空港のタラップにアメリカ人女性がひとり降り立った。アリス・アトウッドさんは、ベテラン「スチュアデス」で27歳。戦後初の国際線定期便就航に向け、準備を本格化していた日本航空が、ユナイテッド航空から招聘した客室サービスの教官だった。それから8ヶ月間に渡り、彼女は日本航空の男女37名の客室乗務員を徹底的に指導する。同時に、鋭い観察眼で日本社会を見つめ、アメリカのプレスにコメントも残している。新しい日本人女性を育てたアトウッドさんは、新しいアメリカ人女性でもあり、未婚でエアラインの仕事を42年間続けた。彼女の見た日本の価値観、そして異文化間でのその揺らぎと戸惑いを追う。

問い合わせ： kakennewwomen@gmail.com

主催： 科研「新しい女性」とアジアの近代—情動にみる思想・

価値観の形成過程の比較研究」(代表：山口みどり)

共催： 東京大学 日本・アジアに関する教育研究ネットワーク(ASNET)

東京大学 東洋文化研究所

参加無料・申込不要

言語：日本語